

作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
経営学部スポーツマネジメント学科	笠原 彰	2024年5月1日

【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

前期:

プレインターンシップ スポーツ
プレインターンシップ 企業・団体
インターンシップ スポーツ
スポーツ科学実技A1
基礎ゼミナール1 p
研究ゼミナール1
研究ゼミナール3
研究ゼミナール5
発育発達論
スポーツ心理学

後期:

スポーツビジネスコーチング論 A
スポーツビジネスコーチング論 B
スポーツ科学実技A2
基礎ゼミナール2 p
研究ゼミナール2
研究ゼミナール4
研究ゼミナール6
生涯スポーツ論
経営学総論 B

【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

スポーツを通じて時代の変化に対応し、自らを常に新たにする能動的な人材育成を目指しています。
スポーツ科学の理論と実践を融合させ、学生が自ら考え、行動する力を養うことを重視しています。
特に、スポーツビジネスコーチング論やインターンシップなどの実践的な科目を通じて、学生がスポーツを「する」「みる」「支える」の全ての側面から理解を深め、スポーツマネジメントの専門性を身につけることを目指しています。
同時に、生涯スポーツ論や発育発達論などの科目を通じて、スポーツの社会的意義や人間の成長過程における役割について幅広い視野を養成します。
ゼミナールでは、学生の自主性を尊重しつつ、研究能力と実践力を兼ね備えた人材の育成に力を入れています。

これらの教育を通じて、スポーツを通じた地域社会の活性化に貢献できる、創造性豊かで実践力のある人材を育成することを目指しています。

【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

スポーツ心理学の専門知識と実践的アプローチを融合させ、以下の方法で教育理念の実現を図っています:

・理論と実践の融合:

スポーツ心理学やスポーツビジネスコーチング論などの講義では、最新の研究成果と実践的な事例を組み合わせ、教授し、学生の理解を深めています。

・体験型学習の重視:

スポーツ科学実技やインターンシップを通じて、学生が実際にスポーツを体験し、現場で学ぶ機会を提供しています。

・少人数制ゼミナールの実施:

基礎ゼミナールから研究ゼミナールまで、少人数制で学生一人ひとりに寄り添った指導を行い、自主的な学びと研究能力の向上を支援しています。

・プロジェクト型学習の導入:

スポーツイベントの企画運営やスポーツビジネスの分析など、実際のプロジェクトに取り組むことで、実践力と創造力を養成しています。

・多角的な視点の育成:

生涯スポーツ論や発育発達論を通じて、スポーツを広い社会的文脈で捉える力を育てています。

・学際的なアプローチ:

心理学、経営学、教育学などの隣接分野との連携を図り、総合的な視点からスポーツを学ぶ機会を提供しています。

これらの方法を通じて、学生の自主性と実践力を育み、スポーツを通じて社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

教育方法の成果として、以下のような点が挙げられます:

・学生の主体性の向上:

理論と実践を融合させた授業展開により、学生の学習意欲が高まり、自ら課題を見つけ解決策を考える姿勢が育っています。特に、ゼミナールでは学生が主体的に研究テーマを設定し、探究する力が養われています。

・実践的スキルの獲得:

インターンシップやプロジェクト型学習を通じて、学生がスポーツビジネスの現場で必要とされるスキルを身につけ、就職活動や卒業後の実務に活かしています。

・多角的な思考力の醸成:

スポーツを多面的に学ぶことで、学生がスポーツの社会的意義や課題を深く理解し、独自の視点で提案できるようになっていきます。

・研究能力の向上:

ゼミナールでの指導を通じて、学生の研究能力が向上し、学会発表や論文執筆にチャレンジする学生が増えています。

・キャリア意識の醸成:

スポーツ関連産業への就職や起業を目指す学生が増加し、具体的なキャリアビジョンを持つ学生が多くなっています。

学生たちの成長を目の当たりにすることは教育者冥利に尽きます。特に、入学時には漠然としたスポーツへの興味しかなかった学生が、卒業時には明確な目標を持ち、社会に貢献する意欲に満ちた姿を見るのは大きな喜びです。今後も時代の変化に応じて教育方法を柔軟に改善し、より多くの学生の可能性を引き出していきたいと考えています。

【目標】(今後どうするか)

・実践的教育の更なる充実:

インターンシップ先を拡大し、より多様な経験機会を提供します。また、地域スポーツイベントの企画・運営に年間3件以上、学生が主体的に関わる機会を創出します。

・キャリア支援の拡充:

スポーツ関連企業や団体からゲストスピーカーを招き、学生のキャリアビジョン形成を支援します。また、卒業生とのネットワーク構築を強化し、メンタリングプログラムを立ち上げます。

・地域貢献の強化:

地域のスポーツ振興に関する提言を年1回以上行い、学生と共に地域スポーツの課題解決に取り組みます。

・